

# 浄土真宗本願寺派

# 宗法改定論ノート

いけだぎようしん

池田行信著 ▼A5判・並製カバー・二二八頁・本体二、八〇〇円十税

2018年7日月刊行



西本願寺が日本初の議会制度を導入して一四〇年。三権分立による弊害とは？宗派と本山本願寺は区分すべきなのか？戦後の膨大な議事録から宗法改定議論の論点をあぶり出す。

## 【目次】

はしがき

本書の立場と方法

昭和三十年度宗法改定論議

- 一 「宗政民主化」と「門主制」をめぐる論戦
  - 1 「門主を中心として」の文言挿入
  - 2 「如何せん数において差別がついておる」
  - 3 第二百二十回臨時宗会の争点
- 二 「三権分立主義の弊害を除去」
  - 1 第二百二十五回定期宗会の争点
  - 2 《宗門の運営は寺院単位》
  - 3 《公選議員は一教区、僧俗各々一名》
  - 4 「行議兼職」の問題
  - 5 《僧侶教区会議員は組長をもって充てる》
  - 6 門徒議員団の批判
- 昭和三十六年度宗法改定論議
  - 一 「マンモス宗会案」について
    - 1 「企画調査室」の設置と「宗務刷新特別対策委員会」の発足
    - 2 アンケートの集計
    - 3 第四百四十一回臨時宗会
    - 4 「マンモス宗会案の提出」
    - 5 第四百四十一回臨時宗会の質問戦
    - 6 継続審議の背景
  - 2 宗法改定論議の深層

- ii 門主の総長指名制について
- iii 「宗会の権限縮小」「宗会軽視」について
- iv 政局の行方
- 二 「宗門総会案」について
  - 1 第四百四十二回定期宗会の経過
  - 2 「宗会機構改革」をめぐる論議
    - i 「宗門総会案」とは
    - ii 第四百四十二回定期宗会の質問戦
    - iii 宗会解散
    - iv 宗会機構改革案への反対意見
    - v 「宗門総会案」の意味するもの
    - vi 宗会機構改革案への賛成意見
  - 3 総選挙と特別宗会
    - i 総選挙
    - ii 立候補者とその所信
    - iii 第四百四十三回特別宗会

結

あとがき

索引

### ◆著者略歴

一九五三年栃木県生まれ。龍谷大学大学院文学研究科博士課程(真宗学)修了。現在、浄土真宗本願寺派総務、慈願寺住職。著書に『真宗教団の思想と行動』『増補新版』『法藏館』、『現代社会と浄土真宗(増補新版)』『法藏館』、『現代真宗教団論(法藏館)』など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
池田行信著	法藏館
浄土真宗本願寺派	本体二、八〇〇円十税
宗法改定論ノート	
ISBN:978-4-8318-9033-7 C3015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

真宗・仏教